

郡山市PTA連合会校外生活委員会研修会報告2

「郡山市PTA連合会校外生活委員会研修会」についての続きです。前半は36号でもお伝えした郡山市消費生活専門相談員の遠藤美代子様の「インターネットトラブル予防講座」の講演でした。詳しくは36号をご覧ください。

後半は、市内A小学校PTA会長からの実践報告でした。昨年、A小学校ではオンラインゲームによる問題が起こり、どのように改善したかの報告でした。A小学校で起こった問題とは、「フォートナイト」などのオンラインゲームトラブルでした。男子を中心に、「長時間プレイなどの依存問題」「子ども自身の暴言」「仲間はずれなどのいじめや人間関係トラブル」が同時多発的に起こったそうです。ゲームを深夜まで長時間行った児童を中心に、言葉が乱れはじめ、授業に対する意欲がなくなり、そして、ゲームの途中でやめた児童に対する仲間外れなどのいじめが起こったとのことでした。A小学校ではPTA会長が先頭に立ち、緊急の全校保護者会を開き、全保護者で問題を共有し、次のことを全家庭で行うことにしたそうです。

- 1 子どもたちの生活状況の把握をする(どんなゲームを、どのくらい行っているか)
- 2 親子でゲームの使い方の約束を話し合い、約束が守れているか確認を行う
- 3 就寝したあとも本当に寝ているか(布団の中でゲームをしていないか)の確認を行う

はじめは、ゲーム依存症となった児童の家庭では大変だったそうですが、A小学校PTA会長さんによると、全校で取り組んだことでようやく元の状態に戻りつつあるということでした。大切なことは、「ゲームを買い与えた親として、約束をつくり、約束が守られているか確認する責任がある」とのことでした。このことは決して対岸の火事ではなく、河内小でも起きうることだと思いました。ぜひ、各家庭でお子さんの生活状況の確認とゲームやインターネットの約束づくり、そして約束が守られているかの確認が必要だと感じました。

ちなみに、オンラインゲーム『フォートナイト』は15歳以上対象にレーティングされたゲームだそうです。

参考資料として、関係する記事を紹介しますので、ぜひお読みください。



『フォートナイト』等のオンラインゲームで子どもに起きている5つのトラブルと保護者がすべき対策とは

3年ぶりの逢瀬地区市民文化祭

行かれた方も多いと思いますが、12・13日に逢瀬公民館において、逢瀬地区市民文化祭が開催され、12日に表彰式と発表会が行われました。

表彰では、河内小学校が「明るいまちづくり花いっぱいコンクール」において、優秀賞を頂きました。また、「明るいまちづくり標語コンクール」と「第40回『少年の主張』コンクール」の表彰も行われ、本校児童も表彰されました。

その後、「少年の主張コンクール入賞作品の発表会」が行われ、本校では4年のEさんが、「いいところいっぱい逢瀬町」と題した主張を発表しました。自分が住んでいる逢瀬町が大好きだということがとても伝わる素晴らしい発表でした。



交通事故の絶無を

11日(金)にマチコミメールでお知らせしましたが、市教育委員会より、今月に入り7県の交通事故が発生しており、昨年同時期と比較して12件も多くなっているため再度指導するようにとの通知が入りました。学校において、以下のことについて指導いたしましたので、家庭でもお話ししていただきたいと思います。

- ① 何があっても、飛び出しは絶対にしない。
- ② 「止まれ」の標識では必ず止まって、車が来ないことを確認する。
- ③ 道路を横断するときや、信号がない交差点では一時停止し、「右」「左」もう一度「右」を見て、車が来ないことを確認する。信号がある交差点では、信号が「青」でも、車が来ないことを確認してから道路を横断する。
- ④ 自転車に乗るときは、ヘルメットを必ず着用するとともに通行区分(左側通行)を遵守し、スピードを出しすぎることのないよう安全な速度で運転する。また、自転車も「PM4 ライトン運動」を行い、夕方早めの点灯をし、暗がりでも目立つよう反射材等を身に付ける。
- ⑤ 車や自転車に接触したときは、自分で軽微と判断せずに、近くにいる大人に知らせ、必ず相手の名前と連絡先を確認するとともに、保護者や学校にすぐに連絡する。



落語鑑賞教室を開催しました

11月2日(水)の午後、落語家の昔昔亭A太郎さんをお招きしての落語鑑賞教室を実施しました。

詳しくはホームページをご覧くださいと思いますが、子どもたちとやり取りをしたり、子どもたちが高座に上がって落語の体験をしたりと、とても楽しいひとときとなりました。

最後に、落語『お菊の皿』を聞かせてもらいました。もとになっているお話は怪談の「番町皿屋敷」なので怖い話のはずなのですが、こわくはなくとても面白い落ちとなりました。どんな落語だったかはお子さんに聞いてもらいたいと思います。

最後に、質問コーナーとなり、子どもたちと楽しいやり取りをしました。1時間余りでしたが、子ども達にとってはあっという間の楽しい時間となりました。

今回の落語鑑賞教室は、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業～芸術家の派遣事業～」を利用し、無料で落語家さんを派遣してもらいました。

